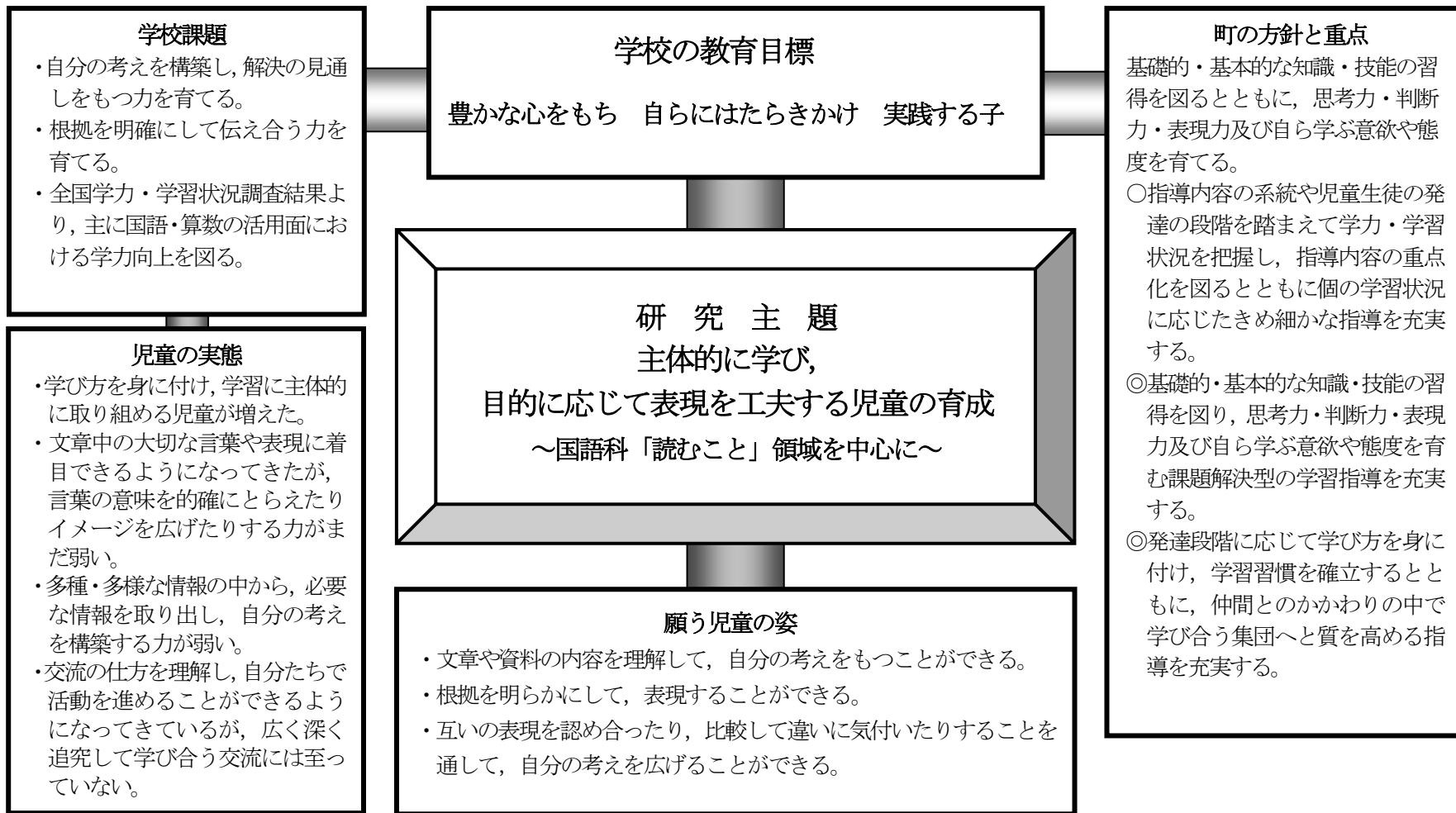


令和2年度研究全体構想図

池田小学校



研究仮説
 児童の実態と学習内容の系統性をもとに育てたい資質・能力を明確にした単元指導計画と、自分の考えをもち、深め、広めるための学習過程を工夫すれば、目的に応じて思いを豊かに表現する児童を育成できるであろう。

研究内容 (1) 育てたい資質・能力を明確にした 単元指導計画の工夫	研究内容 (2) 考えをもち、深め、広めるための 学習過程の工夫
① 関係する領域における教材の系統性の明確化 ・該当学年で育てたい資質・能力を明確にして指導するために、系統性をふまえた単元構造図を作成する。 ・既習事項を生かして、読み取りの仕方や話し方・聞き方・書き方を段階的に指導する。 ② 単元の出口を明確にした単元指導計画の工夫 ・おさえるべき指導事項とそのための言語活動を明確にする。	① 考えをもち個人追究の在り方 (一人読み) ・読み取るためのキーワードの提示 ・ノートの工夫や教材プリントの工夫 ② 考えを深める交流の在り方 (仲間読み) ・目的を明らかにした交流の工夫 ・広がりや深まりを生み出す発問の工夫 ③ 学びを自覚するまとめの在り方 (まとめ読み) ・単元の出口につながる単位時間のまとめ方
学びに向かう集団づくり ① 学級経営の充実 ② 話し方・聞き方指導の充実 ③ 学びの跡が分かるノート作り	家庭学習の工夫 ① 家庭学習の充実 ② 自主ノートの工夫 ③ 授業に生かせる音読の工夫

研究組織 研究推進委員会 — 全校研究会・学年部研究会

研究授業	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月
	全研 (研究概要説明)	部研 (中学年より1学級)	全研 (高学年より1学級)	部研 (低学年より1学級)	部研 (高学年より1学級)	全研 (中学年より1学級)	全研 (低学年より1学級)	部研 (特別支援より1学級)
							全研 (研究のまとめ・来年度に向けて)	